



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月5日
東

上場会社名 全国保証株式会社 上場取引所
コード番号 7164 URL <https://www.zenkoku.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 裕一
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 水口 耕 (TEL) 03-3270-2302
四半期報告書提出予定日 2024年2月7日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	31,904	2.7	23,224	△2.8	25,113	0.1	18,058	4.2
2023年3月期第3四半期	31,060	—	23,902	—	25,087	—	17,330	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 18,495百万円(8.2%) 2023年3月期第3四半期 17,095百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	262.81	—
2023年3月期第3四半期	252.20	—

(注) 2022年3月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	448,169	213,816	47.7
2023年3月期	442,945	205,619	46.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 213,816百万円 2023年3月期 205,619百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	148.00	148.00
2024年3月期	—	0.00	—		
2024年3月期(予想)				170.00	170.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	5.4	40,300	1.0	42,500	2.5	29,450	3.0	428.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	68,871,790株	2023年3月期	68,871,790株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	166,238株	2023年3月期	148,897株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	68,714,467株	2023年3月期3Q	68,718,092株

(注) 株式給付信託 (J-E S O P) が保有する当社株式 (2024年3月期3Q : 56,225株、2023年3月期 : 64,330株) 及び役員向け株式交付信託が保有する当社株式 (2024年3月期3Q : 109,400株、2023年3月期 : 84,000株) を自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による各種施策の効果もあり、景気は緩やかに回復し、個人消費および雇用・所得環境・企業収益の一部に持ち直しの動きがみられました。一方では、世界的な金融引き締め政策の継続や海外の景気下振れリスクから、依然として先行き不透明な状況が続きました。

住宅市場につきましては、政府の住宅取得支援策や住宅ローンの低金利環境が継続したものの、建築資材価格および人件費の高騰を起因とした住宅価格の上昇が需要減退につながり、新設住宅着工戸数は前年同期を下回りました。住宅ローン市場につきましては、住宅価格上昇に伴う借入金額の増加もあり、底堅い動きとなりました。

このような事業環境のもと、当社グループは中期経営計画「Next Phase～成長と価値創造～」の基本方針である「基幹事業の拡大」「周辺事業への進出」ならびに「企業価値の向上」に基づき各種施策に取り組んでまいりました。

基幹事業の拡大におきましては、新規住宅ローン市場での保証事業拡大（オーガニック成長）および既存住宅ローン市場からの保証残高獲得（インオーガニック成長）に取り組ましました。新規住宅ローン市場での保証事業拡大（オーガニック成長）につきましては、商品基準改定ならびにキャンペーンを実施したほか、商品説明会および相談会による金融機関との関係性強化に努め、保証案件の増加を図りました。既存住宅ローン市場からの保証残高獲得（インオーガニック成長）につきましては、他保証会社の全株式取得ならびにRMBS（住宅ローン担保証券）等の購入による既存貸出市場へのアプローチを継続しました。

周辺事業への進出におきましては、物件検討前に借入可能額が把握できる仕組みを不動産検索サイトや不動産会社向けに提供し、新規申込における住宅ローンプラットフォームの構築を進めたほか、グループ会社を活用した保証領域拡大ならびに債権管理回収分野の収益源拡大を図りました。また、CVC（コーポレートベンチャーキャピタル）を通じ、スタートアップ企業への出資ならびに協業による新たな価値創造を目指す取り組みを継続しました。

企業価値の向上におきましては、次世代リーダーの育成のため、サクセッションプラン（経営人材の育成計画）の運用や各種研修および自己啓発支援を実施するなど人的資本への投資を着実に進めました。

こうした取り組みの結果、営業収益は31,904百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は23,224百万円（前年同期比2.8%減）、経常利益は25,113百万円（前年同期比0.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18,058百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

なお、当社グループの報告セグメントは「信用保証事業」のみであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1.2%増加し、448,169百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて26.0%減少し、135,582百万円となりました。これは現金及び預金が減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて20.3%増加し、312,586百万円となりました。これは投資有価証券が増加したことなどによります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.3%減少し、234,353百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて12.7%減少し、28,121百万円となりました。これは未払法人税等が減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.5%増加し、206,231百万円となりました。これは長期前受収益が増加したことなどによります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4.0%増加し、213,816百万円となりました。これは利益剰余金が増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の連結業績予想につきましては、2023年5月9日に公表しました内容から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	164,959	114,495
求償債権	13,537	16,076
有価証券	9,227	11,001
その他	2,199	2,253
貸倒引当金	△6,743	△8,244
流動資産合計	183,180	135,582
固定資産		
有形固定資産	564	809
無形固定資産	1,236	1,494
投資その他の資産		
投資有価証券	227,200	277,065
長期貸付金	7,003	10,374
長期預金	19,000	18,000
退職給付に係る資産	4	—
繰延税金資産	3,843	3,927
その他	912	914
投資その他の資産合計	257,964	310,282
固定資産合計	259,765	312,586
資産合計	442,945	448,169
負債の部		
流動負債		
前受収益	17,559	17,669
未払法人税等	6,242	1,694
債務保証損失引当金	6,145	6,643
その他の引当金	587	197
その他	1,658	1,916
流動負債合計	32,194	28,121
固定負債		
長期借入金	30,000	30,000
長期前受収益	174,719	175,807
その他の引当金	403	403
退職給付に係る負債	9	21
固定負債合計	205,131	206,231
負債合計	237,326	234,353
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,703	10,703
資本剰余金	637	637
利益剰余金	194,979	202,844
自己株式	△619	△724
株主資本合計	205,701	213,461
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△81	354
その他の包括利益累計額合計	△81	354
純資産合計	205,619	213,816
負債純資産合計	442,945	448,169

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業収益	31,060	31,904
営業費用		
債務保証損失引当金繰入額	1,900	2,717
貸倒引当金繰入額	△630	△442
給料手当及び賞与	1,675	1,760
その他	4,211	4,644
営業費用合計	7,157	8,680
営業利益	23,902	23,224
営業外収益		
受取利息	1,692	2,390
受取配当金	51	61
その他	41	38
営業外収益合計	1,785	2,490
営業外費用		
支払利息	595	598
その他	4	2
営業外費用合計	600	601
経常利益	25,087	25,113
特別利益		
負ののれん発生益	—	654
その他	—	0
特別利益合計	—	654
特別損失		
投資有価証券売却損	76	—
特別損失合計	76	—
税金等調整前四半期純利益	25,010	25,767
法人税、住民税及び事業税	7,184	7,695
法人税等調整額	495	12
法人税等合計	7,680	7,708
四半期純利益	17,330	18,058
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,330	18,058

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	17,330	18,058
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△235	436
その他の包括利益合計	△235	436
四半期包括利益	17,095	18,495
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,095	18,495

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。